

会議名 地域研究委員会文化人類学分科会（第25期・第5回）

日時 令和4年7月11日（月） 10:00～12:15

会場 ビデオ会議にて開催 zoom ミーティング

出席者： 高倉浩樹、小長谷有紀、三尾裕子、伊藤泰信、湖中真哉、綾部真雄、上杉富之、北中淳子、窪田幸子、慶田勝彦、小林知、斎藤成也、關雄二、竹沢泰子、中谷文美、野林厚志、速水洋子、俵木悟、丸山淳子、宮崎恒二、安井眞奈美、横山智（敬称略）

会議冒頭、高倉委員長から挨拶、および本会議の趣旨についての説明があった。また、前回議事録が承認された。

#### 議題

1) 報告 守山弘子氏（文化庁） 「無形文化遺産保護条約について」

守山弘子氏（文化庁）より標記の報告があり、出席者との質疑応答が行われた。

2) 報告 野嶋洋子氏（アジア太平洋無形文化遺産研究センター）「無形文化遺産保護と研究の役割：IRCIの調査研究事業を中心に」

野嶋洋子氏（アジア太平洋無形文化遺産研究センター）から標記の報告があり、出席者との質疑応答が行われた。

3) 報告 飯田卓氏（国立民族学博物館）「文化遺産国際協力における文化人類学的知見・視点の応用」

飯田卓氏（国立民族学博物館）より標記の報告があり、出席者との質疑応答が行われた。つづいて3つの報告を通しての質疑応答が行われた。

4) 竹沢連携会員より日本学術会議文化人類学分科会、自然人類学分科会、多文化共生分科会主催、東京都教育委員会後援によるイベント「人類学者と語る人間の「ちがひ」と差別（仮）」について説明があり、本分科会の主催名義の使用について提案があった。本分科会では提案は異議なく了承された。

5) 湖中連携会員より地理総合サブグループが中心となって編集している『フィールドから地球を学ぶ——地理授業のための60のエピソード（仮題）』の進捗状況について報告があり、執筆等への協力に対する謝意が述べられた。

高倉委員長より閉会の挨拶があり、議事が終了した。

以上